



「子ども達の命と学びを守る！」 ～「油断せず、気を抜かず」～
～「地域の子どもは 地域で守り育てる」取り組みの具現化に向けて～

学校長 管澤 秀信

5月21日（金）現在、胆振管内で27人の新型コロナウイルスに感染が確認され、13日連続で2桁感染、20日には4件のクラスターが同時発生する等緊急事態が続く、新型コロナウイルス変異株の感染拡大に歯止めがかからず、今後の推移が非常に心配な状況です。今後とも家庭と一層連携協力して、「学校の新しい生活様式」の確実な定着に向けて、「油断せず、気を抜かず」基本的な感染対策（①感染源を絶つ。「3つの密」を徹底的に避ける。②感染経路を絶つ。「飛沫感染を避ける、正しいマスクの着用」や「接触感染を避ける、正しい手洗いの徹底」 ③抵抗力を高める。「早寝・早起き・朝ご飯」の確実な定着や「適度な運動」）を、保護者、地域の皆様と一体となって、「地域の子どもは、地域で守り育てる」取り組みの具現化に向けて、着実に取り組みを継続していきます。

本校では「学校の新しい生活様式」の一層の定着に向けて、「攻撃は最大の防御」、「攻め」の感染予防策を展開してきました。学校運営協議会と協働して、昨年度学校薬剤師の袖田浩司氏に講師を依頼し、「新型コロナウイルス感染症予防教室」を開催したり、感染症への不安等から生まれる偏見や差別の問題を児童会が自主的な活動でポスターを制作して、「いじめは絶対にゆるさない」ことをみんなに伝えたり、各学級で取り上げ、感染症への正しい理解と優しい向き合い方を学んできました。

それでも、基本的な感染対策の指導が徹底されない、行き渡らない現状があります。しかし、子ども達の大切な命を守る取り組みに関しては、「できている方」だけではいけません。「だめなことは、絶対だめ」という意識を持たせ、しっかり実行できるようにすることが、小学生には特に大切なことです。子ども達の大切な命を守る取り組みです。保護者の皆様、地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、いつ起こるとも限らない非常時を想定して、学校に通えている今こそ、「一人学びができる児童」の育成を目指しています。この前提として、コロナ禍における「子ども達の学びの保障」のため、今年度「1人1台端末」が実現しました。GIGAスクール構想は、「子ども達の学びを止めない」ために、保護者、地域の皆様と一体となって「地域総がかりで」インフラ整備に全力をあげなければなりません。

《なぜ、デジタル化やオンライン化が必要なのか》

- ① ICT（情報通信技術）を自在に使いこなす能力は必須
 - ② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実し、全ての子ども達の可能性を引き出す子どもの学びの実現に不可欠
- ☆他者とかかわって学び、他者とともに取り組むことが、社会に出たときの資質・能力として必要不可欠なものです。

本校では、タブレット端末を活用して、基礎的基本的な学習内容の確実な習得や友達と協働的な学びに活用した学習を取り入れています。「子ども達の学びを止めない」ために、非常時を想定して、子ども達の自宅においてもICTを活用してオンライン学習が行えるよう、家庭での端末のインターネット接続の試行にご理解とご協力をお願い致します。

1年生を迎える会

1年生を迎える会が行われました。コロナ感染対策のため、全校で集まることはできませんでしたが、学年ごとに入れ替わりながら発表を行いました。

3 密回避や大きな声を出すことができないなどの制限がある中、1年生のために、2～6年生は学年ごとに協力して発表に取り組みました。発表はさまざま、歌に合わせた手話、ダンス、なわとび、劇、クイズ、合奏、写真を見せて説明、行事の紹介、プレゼントなどなど、バラエティーに富んだ内容で、1年生は笑顔で、そして嬉しそうに発表を楽しんでいました。発表の終わりには、1年生から感謝の気持ちを込めた大きな拍手が各学年に送られていました。



遠足・稀府小との交流

1～4年生は稀府小の友達と一緒に遠足に行きました。少し肌寒い天気でしたが、子供達は元気いっぱい。広々とした場所で体をいっぱい動かし、おいしいお弁当も食べ、充実した1日を過ごしたようです。また、5年生とたんぼぼ学級は、稀府小の友達と学校で学習しながら交流を深めました。来年には一緒に毎日を過ごすこととなります。今後も交流を重ね、お互いが来年度の4月を楽しみに迎えられる関係づくりを進めていきます。

コロナ感染防止のため、玄関にはテレビ式検温装置を設置しています。通っただけで体温が表示され、数人いても全てに反応します。同時に、毎朝玄関にて健康観察シートの確認も続けています。家庭での体温、テレビに映し出される学校での体温、それらを比べることで、子供達の朝の体調を把握することにも繋がっています。これまで同様、今後も毎朝晩のお子様の検温ならびに健康観察をよろしくお願いいたします。

タブレットの接続試験の実施について

今年度より子供1人1台のタブレットが割り当たっています。クロームブックという機種になります。学校では少しずつ触れる時間を増やしなが、子供達が使い方を身に付けていけるよう進めています。学年によっては、授業でも活用し、子供達が思考したり、交流したりする様子も見られています。今後も積極的に活用していくこととなります。

タブレットのよさの1つに、離れていても画面を通して繋がれるという機能があり、先日は全校朝会も実施しました。この機能を活用すれば、例えば、昨年のように学校休業となっても、タブレットが手元があれば、画面の中でみんなと会い話ができます。現在、家族に風邪症状がある場合は登校を控えてもらっていますが、タブレットを持ち帰っていれば、家にいながら授業の生中継を観ることができて、考えを伝える等の参加も可能です。

緊急事態宣言が発令され、感染拡大が続いている状況です。身の回りでの感染報告も増えている中、長期間休まざるを得ないということが、いつ誰に起きてもおかしくない状況でもあります。

万が一、そのような状況になることに備え、前もって、「家庭と学校とのタブレットの持ち帰り」「家庭での接続試験」を行うことを計画していきます。接続による困り感や問題点を出し、今後のスムーズな活用に結び付けるためにも、学年によっては、実際に「家から授業に参加」も試験的に行っていきたいと考えています。当然、ご家庭のご協力も必要となります。家庭と学校が連携協力し、子供達の学びを支えていく仕組みを構築していくため、近々、ご協力をお願いをしていくこととなります。よろしくお願いいたします。

